

JFA バーモントカップ 第 32 回全日本 U-12 フットサル選手権大会

北海道大会 開催要項

2022 年 5 月 18 日更新 (修正箇所を赤字で表示)

1. 主 旨 日頃の練習成果を競い、より高度なフットサル技術のレベル向上を目指す。また、フットサルを通じて、フットサルの楽しさを味わい、小学生年代の健全な心身の発育・発達を図ることを目的とする。併せて JFA バーモントカップ第 32 回全日本 U-12 フットサル大会北海道予選を実施する。
 2. 名 称 JFA バーモントカップ 第 32 回全日本 U-12 フットサル選手権大会 北海道大会
 3. 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会、一般社団法人北海道フットサル連盟
 4. 主 管 一般社団法人札幌地区サッカー協会、特定非営利活動法人札幌フットサル連盟
 5. 後 援 北海道、北海道教育委員会、公益財団法人北海道スポーツ協会、札幌市教育委員会、一般財団法人札幌市スポーツ協会
 6. 特別協賛 ハウス食品グループ本社株式会社
 7. 協 力 株式会社モルテン、札幌市サッカースポーツ少年団連盟
 8. 期 日 2022 年 6 月 18 日(土) ~ 6 月 19 日(日)
 9. 会 場 北ガスアリーナ札幌46
札幌市中央区北4条東6丁目 TEL 011-251-1815
 10. 参加資格 (1) フットサルチームの場合
 - ① 公益財団法人日本サッカー協会に「フットサル 4 種」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チーム含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
 - ② 前項のチームに所属する選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は 1 チームあたり 3 名までとする。(2) サッカーチームの場合
 - ① 公益財団法人日本サッカー協会に「4 種」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チーム含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
 - ② 前項のチームに所属する選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は 1 チームあたり 3 名までとする。(3) 本大会の予選(地区・ブロック)を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
 - (4) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
 - (5) 道内 5 ブロック(札幌、道央、道南、道東、道北)の大会を経て、所轄の地区協会が認めたチームであること。
 - (6) 下記本大会フットサル登録料を所属地区サッカー協会において納入完了していること。
 - ① フットサルチームの場合 登録料 2,000 円
 - ② サッカーチームの場合 登録料 4,000 円
11. 参加チーム及びその数 参加チーム数は、次により選出された 16 チームとする。
各ブロックの出場枠は次のとおりとする。
 - ・札幌ブロック : 4 チーム
 - ・道央ブロック(千歳、小樽、空知、北空知) : 3 チーム
 - ・道南ブロック(函館、室蘭、苫小牧) : 3 チーム
 - ・道東ブロック(十勝、釧路、根室、オホーツク) : 3 チーム
 - ・道北ブロック(旭川、道北、宗谷) : 3 チーム
12. 大会形式 (1) 全てノックアウト方式で行う。

- (2) 3位決定戦を行う。
- (3) 1回戦は、同一ブロックが対戦しないよう可能な限り配慮する。
- (4) 交流戦は、行わない。
- (5) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5、またはその時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。

13. 競技規則

14. 競技会規定

大会実施年度の(公財)日本サッカー協会フットサル競技規則による。

以下の項目については、本大会で規定する。

- (1) ピッチ
 - ・大きさ：サイズは原則として、32m×16m
 - ・センターサークル：半径2.5m
 - ・ペナルティーエリア四分円の半径：5m
 - ・ペナルティーマーク：5m
 - ・第2ペナルティーマーク：8m
 - ・交代ゾーンの長さ：4m
 - ・タイムキーパーの机の前のエリア：ハーフウェーラインの両端からそれぞれ4m
- (2) 守備側競技者のボール等から離れる距離
 - ・フリーキック：4m
 - ・コーナーキック：4m
 - ・キックイン：4m
- (3) 使用球は、モルテン製ヴァンタッジオフットサル 3000(F8A3000) 3号ボールとする。
- (4) 競技者の数
 - ・競技者の数：5名
 - ・交代要員の数：10名以内
 - ・ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2名以内
- (5) ベンチに入ることでできる人数は14名以内(交代要員10名、役員4名以内)とする。
- (6) 競技者の用具
 - ① ユニフォーム
 - (ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携帯すること。
 - (イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものであること。
 - (ウ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。試合の勝者を決定する、いわゆるPK戦においても上記同様の対応とする。尚、ケガや退場処分等の突発的な諸事情により、交代要員のゴールキーパーが不在でかつ準備が整っていない場合、主審の判断により、ゴールキーパーのユニフォームを前述以外のシャツ(ビブスなど)で代用することができる。
 - (エ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - (オ) 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。

- (カ) ユニフォームへの広告表示については、(公財)日本サッカー協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
- (キ) その他のユニフォームに関する事項については、(公財)日本サッカー協会の「ユニフォーム規程」に則る。

② 靴

キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない)。なお、チーム役員にも適用する。

③ ビブス

交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

(7) 試合時間

- ① 1回戦及び2回戦は、16分間(各8分からなる2つのピリオド)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは10分間(第1ピリオドから第2ピリオド開始まで)とする。
- ② 準決勝、決勝戦及び3位決定戦は、20分間(各10分からなる2つのピリオド)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは10分間(第1ピリオドから第2ピリオド開始まで)とする。

(8) 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝者が決しない場合)

- ① 1回戦及び2回戦において勝敗が決しない場合は、PK方式により勝敗を決定する。PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
- ② 準決勝、決勝戦及び3位決定戦において勝敗が決しない場合は、6分間(各3分からなる2つのピリオド)のプレーイングタイムの延長戦を行い、決定しない場合はPK方式により勝敗を決定する。
 - ・延長戦に入る前のインターバルは5分間とする。
 - ・PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

(9) タイムアウトは、全ての試合に適用する。

15. 懲 罰

罰

- (1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。
- (2) 本大会の予選(ブロック)は、懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (3) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (4) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (5) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合(ただし、JFAバーモントカップ第32回全日本U-12フットサル選手権大会出場チームは、この大会で行うこと。)にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (6) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。

16. 参 加 料

参加料 40,000円(消費税込)

17. 参 加 申 込

- (1) 参加申込書に記載し得る人員は、選手20名・役員4名を上限とし、選手は本大会の予選となるブロック大会に登録していること。ただし、3名を上限に本大会の予選となるブロック大会に登録していない選手を記載できる。その場合、「10.参加資格」に定める要件を満たしていなければならない。

- (2) 参加申込は所定の申込書(Excel)に必要事項を記入し、プライバシーポリシー同意書(Word)とともに期日までに申込先(A)の所属地区サッカー協会宛てに E-mail で送付すること(所属地区サッカー協会を通じて申込先(B)・(C)に送付される)。
※チームは事前に所属地区協会の申込みアドレスを確認すること。
- (3) 参加料 40,000 円(消費税込)は申込と同時に申込先(C)へ納入すること。
- (4) 親権者の承認印のある親権者同意書を申込先(B)に送付すること。なお、2022 年度中に提出済みの場合は不要。
- (5) 各チームの出場停止処分未消化選手の有無について、懲罰処分についてのアンケートに記載の上、申込先(C)宛てに E-mail で送付すること。
- (6) 申込締切日 2022 年 5 月 24 日(火) 17 時まで 厳守
- (7) 上記(6)申込締切日以降の参加申込内容の変更は原則認めない。ただし、新型コロナウイルス感染症対策の必要上、自粛等が発生した場合は、追加・変更を認める。申請については、所定の用紙に必要事項を記入し、期日までに申込先(A)の所属地区サッカー協会宛てに E-mail で送付すること(所属地区サッカー協会を通じて、申込先(B)、(C)に送付される)。
追加・変更の手続きの期限は 2022 年 6 月 15 日(水) 17 時までとする。
(ただし、新型コロナウイルス感染症防止対策のための検温を大会 2 週間前から行っていること。)
- (8) 2022 年 6 月 10 日(金) 17 時までに「引率者およびライブ配信申請用紙、被撮影承諾確認用紙」を申込先(B)および(C)宛てに E-mail で送付すること。
※チームスタッフ以外の引率者や帯同者(各チーム2名まで)についての申請、ライブ配信についての申請、および被撮影承諾に関する回答を上記の用紙で行う。なお、ライブ配信はチーム関係者への限定配信とすること。
- (9) **組み合わせ決定後に参加者が参加を辞退した場合、および主催者もしくは主管地区協会が新型コロナウイルス感染リスクを鑑みて参加を認めない場合も参加辞退と同様の扱いとし、既に支払われた参加料については返却しないこととする。**
- (10) 申込先 (A) 所属地区サッカー協会
(B) (公財)北海道サッカー協会
〒062-0912 札幌市豊平区水車町 5 丁目 5-41
北海道フットボールセンター 内
TEL 011-825-1100 FAX 011-825-1101
・参加申込書(E-mail)
※チーム・選手登録番号を必ず記載すること。
・ブロック大会結果(E-mail)
・プライバシーポリシー同意書(E-mail)
・親権者同意書(郵送)
・引率者およびライブ配信申請用紙、被撮影承諾確認用紙
(C) (一社)札幌地区サッカー協会
〒064-0931 札幌市中央区中島公園 1-5
札幌市中島体育センター内
TEL 011-531-7553 FAX 011-531-7553
E-mail : taikai-sfa@sfa-rc.net
・参加申込書(E-mail)
※チーム・選手登録番号を必ず記載すること。
・懲罰処分についてのアンケート
・ユニフォームカラー報告用紙(E-mail)
※ユニフォーム正副、裏表の写真貼付のこと。
・引率者およびライブ配信申請用紙、被撮影承諾確認用紙
・参加料 40,000 円(消費税込)

[大会参加料振込口座]

北洋銀行 東屯田支店 普通 3535541

一般社団法人札幌地区サッカー協会

専務理事 今枝 映人(イマエダ アキヒト)

18. 組 合 せ 参加申込締切後、(公財)北海道サッカー協会において抽選を行い決定する。なお、組み合わせ結果は下記の公式ホームページにて確認すること。
<https://www.hfa-dream.or.jp/> (大会情報・フットサル)
19. 帯 同 審 判 本年度については、帯同審判制をとらないこととする。
20. 監 督 会 議 (1) 日 時 : 2022年6月18日(土) 午前 8時 10分から
(2) 会 場 : 北ガスアリーナ札幌 46 多目的室
21. 開 会 式 実施しない。
22. 表 彰 及び閉会式 (1) 優勝、準優勝、第 3 位には(公財)北海道サッカー協会から表彰状及びカップを授与する。なお、優勝チームには(公財)北海道サッカー協会杯を授与して次回までこれを保持する。
(2) 表彰式並びに閉会式は、決勝戦終了後に試合会場で行う。
23. 負 傷 及 び 事故の責任 (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
(2) 選手はスポーツ保険、またはそれに準じた保険に加入していること。
24. 新型コロナ ウイルス 感染症対策 (1) 本競技会は、感染対策として、無観客で実施する。
ただし、感染レベル1以下となった場合、選手 1 名につき 1 名の保護者等の観戦を認める。
(2) 本競技会は、大会期間を通じ、「会場感染対策担当者」および各チームの「感染対策担当者」を設置する。試合前、会場感染対策担当者とは各チームの感染対策担当者でミーティングを実施すること。ガイドラインにおいて、これらの責任者や担当者の擁立が不要となった際には、その通りとする。
(3) 本競技会において、「会場感染対策担当者」は主管地区協会フットサル委員長と会場運営責任者が務める。
(4) 選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・観客など会場にいる全ての者は、会場感染対策担当者および各チームの感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。
(5) 今後の新型コロナウイルス感染症に対する国・道の対応によっては、本大会を中止する場合がある。
(6) 本競技会実施にあたっては、(公財)北海道サッカー協会によって更新される「新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」最新版及び「新型コロナウイルス感染症対策を踏まえたフットサル活動マニュアル」最新版を遵守し、関係者は健康チェックシートを都度会場運営責任者に提出すること。ガイドラインにおいて、健康チェックシート提出義務が不要となった際は、その通りとする。
25. そ の 他 (1) マッチコーディネーションミーティング
① 1 回戦 : 監督会議時に併せて実施する。
② 2 回戦以降(2 日目)、各試合競技開始時間の 40 分前(ただし、第 1 試合は試合開始 30 分前)に、MCM 室で行う。
③ マッチコーディネーションミーティングは、運営スタッフ、両チームの監督及び審判員出席のもと以下について行う。ただし、準決勝、3 位決定戦及び決勝においては、(公財)日本サッカー協会認定マッチコミッショナーが加わり行うこととする。
(ア) 選手証等のチェックのため持参(監督会議)すること。なお、2 回戦以降は、特に指示がない限り選手証等の提出は不要。
(イ) FP 及び GK それぞれの正副 2 種類のユニフォーム(パワープレーを行うチームはパワープレー用ユニフォームも含む)、競技中に着用するビブス(メーカーは不問。対戦チームのユニフォーム色も考慮し、複数色

のビブスの用意があるのが望ましい。)を各色 1 枚持参すること。両チームのユニフォーム等の色を決定する。

(ウ) タイムスケジュール、出場停止選手、試合前セレモニーの進行内容、モラル、その他通達事項の遵守などについて確認を行う。

(2) メンバー提出用紙

1 回戦のメンバー提出用紙は、各試合 40 分前(ただし、第 1 試合は試合開始 30 分前)に自身が試合を行うピッチオフィシャル席にいる、ピッチ責任者へ提出すること。2 回戦以降は、マッチコーディネーションミーティング後提出すること。

(3) 選手証

各チームの登録選手は、原則として(公財)日本サッカー協会発行の選手証を、監督会議及び試合会場に持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

※選手証とは、(公財)日本サッカー協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものであり、スマートフォンや PC 等の画面に表示したものは原則として認めない。

(4) チームの監督は、監督会議の出席及び各試合ともベンチに入ることを義務付ける。ただし、やむを得ず、監督会議に出席することが出来ない場合又は試合のベンチ入りが出来ない場合は、速やかに所属地区サッカー協会を通じて電子メールにより主管協会に理由及び代理出席者(参加申込書記載の役員から)氏名を届け出ること。また、不測の事態により、当日急遽欠席する場合は、電話等で主管協会に連絡すること。

なお、監督が無断欠席の場合は、そのチームは原則試合出場を認めないものとする。

(5) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。

(6) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。

(7) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいて摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。

(8) 本開催要項に記載のない事項については、(公財)北海道サッカー協会フットサル委員会にて決定する。

(9) 優勝・準優勝チームには、2022 年 8 月 5 日(金)～8 月 7 日(日)に東京都/駒沢オリンピック公園体育館・屋内球技場で開催される JFA バーモントカップ第 32 回全日本 U-12 フットサル選手権大会の参加を義務づける。ただし、優勝チーム又は準優勝チームが新型コロナウイルス感染症の影響を事由に出場を辞退した場合、第 3 位のチームが繰り上げて参加することができる。なお、参加チームには(公財)日本サッカー協会が定める基準により交通費が支払われる。宿泊費は、チーム負担とする。

以上